

平成23年度
実施事業

事務事業名 町内会運営費助成事業

区分	No	名称
章	6	担いあうまちづくり
節	1	協働のまちづくりの推進
施策	2	まちづくり活動の推進
小分類	1	多彩なまちづくり活動の支援
主要な施策	2	コミュニティ・活動の支援
事務事業番号	002	事業開始年度 昭和 43 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービスグループ
-----	-------	-------	------------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	町内会等の運営や市に協力するための活動を支援するために助成金を支給する。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>町内会等の運営や市行政に協力するための活動費として、一定のルールに基づいて助成金を支給する。</p> <p>助成対象町内会等 95町内会等(単位町内会94、地区連合町内会1)</p> <p>助成金の総額 27,665,800円</p> <p>(内訳) ・団体割 2,820,000円 (1町内会当30,000円)</p> <p>・世帯割 5,520,000円 (1世帯当300円)</p> <p>・防犯灯割 18,646,600円 (前年度防犯灯電気料支払額×5分の4)</p> <p>・会館割 679,200円 (町内会等所有施設の前年度運営費-上限額12万円)</p> <p>(注)支給対象は基本的に町内会ですが、地区連合町内会が傘下の町内会分をまとめて申請する場合は、これを認めています。</p>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	今後においても、地域の活性化とともに行政との協働関係の構築を目指すため、町内会の運営を助成する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市町内会等の補助金等の交付に関する規則

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	27,862	27,666	28,614	28,614	28,614
事業費合計			27,862	27,666	28,614	28,614	28,614

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果指標	助成を実施した町内会等数	町内会等	目標値	96	96	95	95	95
			実績値	96	95			
	町内会加入世帯数	世帯	目標値	18,900	18,800	18,400	18,400	18,400
			実績値	18,512	18,400			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
防犯灯電気料（防犯灯割）の縮減を図るため、省エネルギー型防犯灯導入の検討が必要。	平成23年度で省エネルギー型防犯灯に係る防犯灯設置事業補助金の上限額について検討を行い、平成24年度より上限額を増額して省エネルギー型防犯灯の普及を図ることとした。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）			《Check》
1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	地域の活性化とともに行政との協働関係の構築を目指すため、町内会の運営を助成することは妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
	国、道、民間等の事業と重複・類似している		
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	市民と行政の協働による、住みよいまちづくりを推進するために必要である。
	市民アンケートの結果から必要性が高い		
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
	市民の大部分が関連することから必要性が高い		
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	町内会等の安定的な運営・活動を進めるためには、最低限のコストである。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
	将来的に効率性を向上できる		
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	多種多様な課題解決に向け、町内会と行政が連携するなど、着実に成果があがっている。
	市民、団体等の声から成果を感じられる		
	目に見える形で成果があがっている		
	成果の把握は困難である		

担当グループによる評価		《Check》
維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	町内会等の安定的な運営・活動を進めるため、現行レベルの財政支援を継続することが必要である。

行政評価会議による評価		《Check》
維持	備考	